
不労所得マニュアル

はじめまして。

これからお伝えすることはあなたが

「不労所得を構築する」

ためのマニュアルです。

「不労所得」とはウィキペディアでは

労働の直接的対価として得る賃金・報酬以外による所得を示す。一般に、何らかの権利や状態を維持管理すれば継続して得られる収入源という意味で用いられることが多い。

利子、配当、賃料収入など投資による収益を指す場合や、有価証券や不動産等の権利自体を売買しその売買差益を指す場合、あるいはその両方を含める場合もある。

と定義されています。

つまり、直接「労働の対価以外」で得られる、継続的な収入を差しています。

不労所得があれば、将来に渡って収入で困ることがなくなります。

多くの人は将来の収入に不安を感じているために、働き続けますし、貯金をし続けます。

ですが、どれだけ貯金をしようとその不安は消えることはありません。

2000万円貯めようが、5000万円貯めようが完全に安心することはできずにいます。どのくらい貯金をしたら安心できるのかは、死んだときに初めてわかるからです。

もしかしたら、500万円くらいあれば、満足した人生が送れたかもしれません。

それがわからず、働き続けて貯金のために人生が終わってしまう人はとても多いです。

貯金だけで人生が終わってもいいのでしょうか？



貯金するのは日本人にとって美徳とされていますね。

人生60年とか70年くらいだったら、老後に向けて貯金して、会社をやめ2000万円くらい退職金をもらって、あとは孫におもちゃを買ったり、観光地の温泉宿に泊まったり、ちょっと海外旅行を楽しんだりできました。

ですが、今はおおよそ30人に1人が100歳以上まで生きる時代です。



会社員生活を2回分生きる計算です。

果たして、貯金だけで生活していけるでしょうか？もうお気付きだと思いますが、ギリギリの生活なら送れるかもしれませんが、楽しい老後は送れないと思います。

そんな老後のために、今を一生懸命我慢して貯金し続ける。確かに素晴らしいことだとは思いますが、果たしてそんな日々であなたは満足を感じられますか？

私は絶対に嫌だなと思いました。

ただでさえ老いていくのに、ただ生きるためだけに、毎日年金と貯金を見比べて、ため息をついて、半額シールのついた惣菜を買って、「やった！60円も安い！」と

か言いながら、ギリギリの生活をし続けることを想像したら、今から何かしなければいけないと強く感じたんです。

私が選んだのは、**自分が働かなくても得られる収入の獲得**です。
それが

インフラストック収入型サブスクビジネス

です。

いきなりインフラとか、サブスクとか言われてもかなり怪しいですよ。

怪しいと感じているとは思いますが、1分だけでもいいので、読んでみてください。
無理に強要することは絶対にはありませんし、今回は、
《自分が働かなくても得られる収入を獲得するための仕組み》
をお伝えいたします。

今回それを無料で公開しているのも、自己投資意識の高い人たちと私自身が関わっていきたいという意図があります。

普通に生活をしていると、周囲の人たちはやっぱり会社員として働いて、給料をコツコツ貯金してという人がどうしても多くなります。
そういう人たちにこのような話をしても、興味を持ってもらえませんし、逆に「なんか怪しい」「無理に決まってる」と気持ち悪がられてしまいます。

でも、私自身はそんな思考停止状態の人たちとは違い、将来に備えて真剣に取り組んでいます。

このレポートを読んでいるあなたも確実に将来安定した不労所得を作りたいと思っているはず。そういう思考や考えを持っている人にこれからお話しすることをぜひ知って欲しいと思っています。だから無料で公開しています。

なので、ぜひ最後まで真剣に読んでみてください。

1.不労所得を構築すべき理由



おそらく、多くの人が勘違いをしていると思います。

私たちは、誰しものが不労所得という収入源を作っておかなければいけません。

それは今、あなたが会社員として労働をし、安定収入を毎月もらっているように、すでにビジネスをしていて、収入を得ているように関係ありません。

今、不労所得という収入源を確保していないのであれば、どんな職業であっても必要な収入の形式です。

なぜ、不労所得を構築しなければならないのか？

理由①: 自分が働けなくなるリスクがあるから

上でも少しお話ししましたが、今は人生100年時代と言われています。30人に1人が100歳まで生きる計算です。

学校のクラスで1人は100歳まで生きると言われると想像しやすいかもしれません。

平均寿命も伸びていますから、80歳以上まで元気に生活していたりします。昔の60歳が今の80歳くらいの感覚です。なのでかなり元気です。

ですが、一般的にほとんどの人は65歳くらいで定年退職します。

その後は年金と貯金を切り崩して生活をしていかなければいけなくなります。このくらいの年齢になってくるともうどこも雇ってくれませんしアルバイトでも採用されにくくなります。

年齢がネックとなり、雇用主も二の足を踏んでしまうからです。

同じコンビニのアルバイトでも、呑み込みが早い20歳の大学生と、要領が悪く体力のない70歳の高齢者だったら明らかに大学生を雇おうと思うはずです。

つまり、物理的に働けなくなってしまいます。

外国人労働者も増えていますよね。AIの進化も進み仕事は減少する一方です。

他にも、**事故や病気になってしまったら病院に長期入院を余儀なくされるというリスク**もあります。

月給制の会社や社会保険の完備された会社ならまだマシかもしれませんが、労働基準を無視した会社だったり、日給月給制で働いていたり、それこそ時給で働いていたら、即収入がストップしてしまいます。

そうすると、家賃も電気代も、ガス代も水道代も全て支払いが滞るようになります。そうすると残された道は生活保護だけです。

家族がいたら家族が困りますよね。いきなり無収入になったら大袈裟ではなく路頭に迷うことになります。

ですが、不労所得があって、仮に自分が年齢的に働けなくなっても毎月20万円が振り込まれ続けたら家賃、食事、ライフラインに困ることはありませんよね。

労働ではこんな急なリスクや将来のリスクには備えることができないのです。

理由②: お金に対するストレスがなくなるから

人生の大きなストレスとなっているのが「お金」です。私たちはいろんな社会システムをお金という道具を使うことで成立させています。

水を飲むためにもお金を支払い、家に住むためにも家賃を支払い、日本という国にいるだけで毎日毎月毎年多くの税金を納めています。

お金は必要不可欠なツールです。

でもそれが、大きなストレスを生じさせています。お金を稼ぐために働かなければなりませんし、いろんな支払いをしなければいけません。

実はお金は稼いでも失ってもストレスになってしまう厄介な物体です。

稼げば稼ぐほど税金で取られてしまうし、誰かに盗まれるんじゃないか心配ですし、これだけしかくれないの？と不平不満を持つこともあります。

そのお金で支払いをすれば、お金を失ってストレスですし、高い安いで判断すれば、買いたいものも自由には買えないストレスに繋がります。

ですが、**不労所得が入り続ければ、お金の心配をとりあえずしなくてよくなります。**

働けなくなろうが、あなたの銀行口座には振り込まれ続けます。そうなるとお金に対してストレスを感じる機会が今よりも確実に激減します。

だからこそ、不労所得は構築しなければいけないのです。

2.なぜ、多くの人は不労所得を構築できないのか？



前述のお話で不労所得の重要性は理解していただけたとは思いますが。

ですが、こんな風に思うのでは無いでしょうか？

「なぜそんなにメリットしかない不労所得をみんな構築していないの？」

当然ですよ。

メリットしかないし、リスクも激減できるならやるしかないですが、いざやろうと思っても結果的にできずに、サラリーマンでい続ける人はとても多いです。というか99%そうです。

そもそも、なぜ不労所得は構築できないのか？をお伝えしていきます。

そもそも、なぜ不労所得は構築できないのか？

理由は**3つ**あります。

理由①: 不労所得は怪しすぎる問題

不労所得と聞くと、多くの人はず「怪しい」と感じてしまいます。
あなたも不労所得と聞いてなんか怪しいと思ったのではないのでしょうか？

というのも、「自由に楽しく、遊んで暮らせる」といった内容のコンセプトが溢れているからだと思っています。

なんかもう、不労所得をゲットしたら人生上がりと言ったような、夢のような手段を手にすることができますという内容ばかりがクローズアップされてしまっています。

でも、普通に考えた時に怪しいというか、ウマイ話すぎる、詐欺なんじゃないかと思ってしまうところがあります。

なので、不労所得という話がきた時に多くの人が、拒否反応を示してしまい、取り組む人の数自体が少ないという現実があります。

理由②: 不労所得を作るのは実は大変な作業

不労所得を構築する際に、「人生楽しく、遊んで暮らしましょう」という側面ばかりが訴求されます。

ですが、実際ビジネスをスタートしてみると、すでに大企業が展開しているようなライバルが強すぎる商材を取り扱わなければいけなかったり、すでに多くの人が使っているようなコモディティ商材を扱う必要があったりします。

つまり、実際のビジネスの現場にいくと、不労所得を構築することはめちゃくちゃ大変だということに気付くのです。

なんの差別化もされていないような商品を扱い、ビジネスツールもなく時間と労力をかけて営業活動をして、収入のために働き続けるようなケースはごまんとあります。

すでに多くの業界は、ツールや仕組み化を取り入れて、効率良いビジネスを展開しているにも関わらず、いち個人が気合いと根性によって運営するような時代遅れのビジネスをしていることが多いため、挫折し不労所得を構築する前に諦めてしまう人が多いのです。

理由③: 不労所得にはならないビジネスをさせられている

これが一番の闇ですが、どれだけ必死に一生懸命取り組んだとしても、不労所得になり得ないビジネスをさせられているというケースもあります。

自動的に収入が入ってきて、自由気ままに暮らしていると思われていた人が、実は裏で一生懸命働いているというケースです。

例えば、ユーチューバーは広告収入で不労所得じゃ無いの？と思われる方も多いですが、彼らは動画投稿をやめてしまうと、ガクンと収入が下がってしまいます。

YouTubeは基本的にどんどん投稿される新規動画を観ていくメディアです。

1年前とか2年前に投稿された動画を観る習慣はほとんど無いと思います。

登録者1000万人を超えたヒカキンやはじめしゃちょーが動画を投稿しなくなっているか」と答えはNOです。

頻度は落ちましたが、ずっと投稿し続けていますよね。



にも関わらず、ユーチューバーを目指す人はたくさんいます。

それは、YouTubeが稼げるということ、YouTubeのノウハウを広めたい人が一生懸命布教しているからです。

ですが、ユーチューバーでは一生不労所得を構築することはできません。ビジネスモデルを選び間違い、結局労働収入になってしまっているケースは非常に多いのです。

3.不労所得を構築する4つのルールとは？



ここからが、重要なポイントになります。

不労所得を作るためにはルールがあります。そのルールを守っておらず、「稼げるよ」とか「自由だよ」というような話ばかりを鵜呑みにしてしまうと、結局労働で終わるか、不労所得を構築できずに終わってしまうのです。

だから、ちゃんとルールを確認しておいてください。

以下の4つルールを守れていないビジネスは、やりたいなら止めませんが、不労所得は構築できないので注意して下さい。

ルール①:ブームのないビジネスか？

まず、1つ目ですが、ブームやトレンドに乗ったようなビジネスを選ばないようにしてください。

ビジネスは確かにブームやトレンドに乗ると、稼ぎやすいという事実はあります。

一方で、**稼げるのは一瞬**というデメリットもあります。

不労所得というのは、ブームやトレンドで稼げるようなものはNGです。
なぜなら、ブームが過ぎると需要がなくなるからです。

例えば、以前タピオカが流行ったことがあります。
爆発的な人気で、行列ができていたほどの人気のスイーツでした。

ですが、今はどうでしょう？

ブームは過ぎ去り、並ばずとも買えてしまうような、
他と違いのないスイーツに成り下がってしまいました。

ブームに乗ると初動は早いのですが、**継続率が低い**ため、
不労所得というモデルにはマッチしないのです。

だからブームに乗ってはいけないわけです。

逆にブームとは無関係の商材を扱うことが重要です。



例えば水道や電気、ガスのような生活インフラにはブームやトレンドはありません。今年は水道水がアツイ！来年は電気がある！とかは今後何世紀に渡ったとしても訪れることはないでしょう。

それでも、ほぼ100%の人が利用しています。

生活に絶対に必要だからです。
もし水道や電気がなくなってしまうたら、生きていけないと思います。

不労所得はこういった、必要不可欠の商材を扱えると安定した収入を得ることができます。

ルール②:見込み客がたくさんいるか？

2つ目のルールですが、見込み客がたくさんいる市場を選びましょう。

インフラのビジネスを選んだとしても、見込み客が少なければ、ビジネスとして成立せず、収入が発生することはありません。

「生活インフラから選ぶんだな！じゃあ井戸水を扱おう。」

って、どのくらいの人が井戸水を求めているのでしょうか？
ほとんどいないはずですよ。

ですが、電気を商材として扱えたらどうなりますか？

限りなくほぼ100%の人が利用しているはずですよ。

そして、見込み客が多ければ、それだけ大きな収入になるということです。

1人1円の売り上げだとしても、それが1億人いれば、売り上げは1億円になります。

このように、たくさんのお客がいるような商材を扱うのがポイントです。

ルール③: ITツールを活用できるか？

3つ目のルールとして、ITツールを活用し展開できるビジネスを選ぶことです。

不労所得を構築できるというビジネスを見てみると、なぜかわかりませんが、リアルでセールスをしたり、お茶会と称して直接お会いするようなビジネススタイルが多いです。

このスタイルではビジネスを大きく発展させるのは難しいと思っています。

というのも、今ZOOMなどの便利なツールやSNSが発展して、多くの人と気軽に知り合えるチャンスが劇的に増えています。

にも関わらず、ITツールを使うことができず、リアルで会わないと拡大できないビジネスだとスピードが遅すぎますし、何より多くのチャンスをロスすることになります。

さらに言えば、ビジネス自体を自動化させることができないので、毎日毎日ヘトヘトになるまで働き続けなくてはいけなくなります。

そうすると、不労所得どころではなくこれまた労働で終わってしまいます。

ITツールを活用できれば

例えば、**SNSの自動ツール**を使えば、何百万人、何千万人の**SNSユーザー**に自動でアプローチできます。会社で働いている最中でも、寝ている最中でも関係ありません。

ZOOMを使えば、遠隔地にいる人と簡単にコミュニケーションが取れます。海外でも関係ありません。

様々なITツールを駆使する事で、自分が伝えたい情報やセールスの仕組みを《自動化》できるようになります。

自分一人で全てをやるのと、ITツールを活用して自動化したビジネスができるのとどちらが効果的かつ効率的か、明らかですよ。

不労所得ビジネスだけに関わらず、ITツールを導入できない業界や商材は、今後間違いなく衰退していきますので、関わらないようにしましょう。

ルール④:リピータブル商品か？

一回限りで終わってしまうような商品を扱っていると、継続的な収入を得ることはできません。

パソコンでも、ウイルス感染すると怖いのでウイルスソフトを入れていると思います。

このウイルスソフトは、何年かしたら買い替えないといけないようになっていますが、感染を防ぐために何度もリピートして購入しますよね。

それが、買い切り2980円だったら、それ以上は売り上げを上げることはできません。つまり、アフィリエイトだったらそこから得られる利益も2980円の何%かが一回入ってそれでおしまいということです。

扱う商品が一回キリだと、一生セールスをし続けられないといけません。

携帯電話などのような月額支払いの商品であれば、一度加入してもらえれば毎月決まった金額の支払いがあり、そこから利益を得られます。扱うなら後者の継続的なリピート率の高い商材を扱う必要があります。

以上4つのルールを紹介しました。

こちらに当てはまっていないビジネスでは、安定かつ継続的な収入は不可能です。

ルールをまとめます。

- ✓ルール①:ブームのないビジネスか？
- ✓ルール②:見込み客がたくさんいるか？
- ✓ルール③:ITツールを活用できるか？
- ✓ルール④:リピートされる商品か？

チェックポイントとしてこの4つはメモして、ビジネス選びのヒントにしてください。

次に、具体的にどうやって不労所得を構築していくのかについて説明していきます。

4.不労所得を構築する4ステップ



不労所得を構築するための4つのステップについて説明していきます。

ステップ1:不労所得構築ツールを受け取る

これからお渡しする、不労所得構築ツールを受け取ります。

このツールは**Twitter**と**Instagram**の**自動ツール**になります。

今、この2大SNSは利用者が爆発的に伸びています。

自動ツールを使い、見込み客を大量に集めましょう。

ステップ2:これからご紹介するビジネス内容を確認する

次に、これから詳しくお伝えするインフラストック型サブスクビジネスを確認します。

このビジネスは上記で紹介した4つのルールを全てクリアしています。

コロナの影響も無関係で、わずか2%しかない超優良案件となっており、限られた人しかたどり着くことができないようになっています。

知識、経験、スキルがなくてもOKかつ、完全オンラインで完結するため、今の時代にマッチするビジネスモデルとなっています。

ステップ3:スキマ時間で自動ツールを稼働させる

そして、ビジネス内容の確認ができたら、自分もその商材を扱える状態を作り、お渡しした自動ツールを稼働させます。

自動ツールは一度セットしたら、簡単なメンテナンスだけで、あとは自動で動き続けてくれます。設定自体もクリック中心の簡単作業で行えますので、年齢性別関係なく取り組むことができます。

細かい作業は別途マニュアルを準備していますので、その通りにやって頂ければOKです。

忙しい人には、これ以上ない環境となっており、あとは仕組みが動き続けるのを待つだけです。

ステップ4: 毎月権利収入を獲得する

ステップ3まで終わると、毎月権利収入が入り始めるようになります。

あとは、ツールが誤作動をしていないかをチェックしたり、メンテナンスをするだけで、あとは何もする必要はありません。

満足できる収入を得られるまでは、ツールを使い数を増やしてもいいですし、満足できるだけの収入を獲得できれば会社をやめたり、退職したりして旅行をしたり、勉強をしたり、語学を学んだりして自分の世界を広げるのも良いと思います。



また、将来のために資産を残しておくのも良いですね。

以上の4ステップを使えば、誰でも簡単に不労所得を構築することができます。特にITツールを活用できる上で、わずか2%しかない超優良案件を扱えるので、SNSを活用して多くの人にリーチできます。

この機会を活かして、安定した人生を構築していきましょう。

5.終わりに

いかがだったでしょうか？

不労所得とは一見すると怪しいと感じる人もいるかもしれませんが。

ですが、業界や商品を厳選して選べば、現実的ですし普通概念だということを理解していただけだと思います。

私たちは、普通に暮らしているだけでは、こうした不労所得を構築することはできません。ですが、年金問題もありますし、物価の上昇などどう考えても老後の生活が苦しくなっていく未来は見えていますよね。

そこに対して備えないというのは、本当に大丈夫ですか？
と聞きたくなってしまいます。

そして、**いろんなリスクがあります。**
年齢を重ねれば重ねるほど、働けなくなってしまうリスクは高くなります。

そうしたら収入が止まって、自分だけではなく家族も困るんですよね。
そうなるかと嫌じゃないですか？

**将来に備えて、不労所得を準備しようとするのは、
至極当たり前の行動だと私は思っています。**

今回はそのチャンスと、方法についてお伝えさせていただきました。

ぜひ一緒に、安心して暮らせるように準備をしていきましょう。

早ければ早いほど時間のレバレッジが効きます。

今日が一番あなたにとって若い日です。

行動した人だけが、理想の未来を手にできます。

それではありがとうございました。
是非ご感想を頂けますと幸いです。